



**今月の話題：**1990年頃、デジタル・ディバイドという現象が懸念された。当時、パソコンが開発され、その操作技術習得の有無で社会的格差が生ずるとされた。事実、米国では業務の省力化で多くの人々がレイオフされたと聞いた。昨今、IoT (Internet of Thing) が話題である。更に IoH (Internet of Human) に進むという。IoT-ディバイドに陥らないために、先ず自分をインターネットにつなげねばならぬか。(伊藤誠三)

### □ 本部便り：(金森捷三郎 記)

・**急告：**新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、サーツ事務所出勤担当者を原則として置かない期間を次の通り設けることにしました。

**3月27日(金)～4月17日(金)** この期間のご用件はサーツEメール [psats@psats.or.jp](mailto:psats@psats.or.jp) まで

○次回拡大理事会：5月22日(金) 18:00～

### □ 建築部会：(岡本直 記)

・3月はコロナ感染拡大のなか、感染予防措置として3/23の建築部会及びSWGの開催は中止しました。令和元年度のモンゴル行成果報告書作成や某社から依頼された工場施設の総合的な安全性の検討など、いくつか継続的な作業の取り組みは続けています。なお、昨年引き続き練馬区から要請された耐震セミナーへの講師派遣は日程延期となりました。4月には安心して皆様と顔を合わせられる状況に戻ることを願っています。どうぞご自愛ください。

○次回建築部会：4月20日(月) 17:30～19:00

SWGは同日の16:00～17:30に開催予定

### □ 戸建住宅部会：(阿部市郎 記)

・日々のニュースがコロナウイルスの世界的蔓延の報道で満たされているが、日本はシンガポールとともに低い数値で何とか持ちこたえている。3月25日東京都の罹患者が一気に40人と発表され、爆発寸前の様相を挺し首都閉鎖も危惧される。我慢比べに耐えて持続する忍耐力が勝負と思っている。過去にエボラ出血熱など恐ろしいが遠いアフリカの出来事と人ごとのように考えていたが、今回のコロナウイルスはいつどこで伝染するか判らないという、日常生活に危機感を感じさせられる経験は92年の生涯の中でも初めて経験する出来事である。しかし、みずからを律し平静に生活し対抗力をつけてゆくことが肝心であろう。サーツの運営は今までも在宅での情報交換を活用してきたが、今後もこのシステムをより活用して皆様と共に頑張りたいと思います。

○次回部会予定：4月部会は中止します。

### □ 集合住宅部会：(小畑晴治 記)

・前号で触れたが、“自宅待機”、“自宅療養”の重要性が、これまで以上に高まっている中、そこでの“生活の健康性保持”に着目される必要がある。慶応大学伊香賀研究室調査によると「温熱環境の主観評価が“温暖”から“寒冷”に変化した時に、『要

介護度の変化』が“維持・改善”から“悪化”になる割合が2.84倍になる」との報告(学会黄表紙2020.3)がある外、首都大学の須永研究室の「暖かい住まいに住む人程、満足度が高い」と報告がある。

ともすれば「家には寝に帰るだけ」になりがちな住生活を、“働き方改革”に歩調を合わせた“住まい方改革”とすることが、これからの時代の目標になり得るのかもしれない。

集合住宅部会の取組としては、管理組合に寄り添う団地再生の取組の中で、上述の知見を活用しながら、居住者(=管理組合)支援を積極的に行うようにしたいと考えている。温熱環境の改善を図ることで、高築年マンションでも、健常高齢者の健康寿命延伸が期待でき、安心居住可能な“終の棲家”にできる。要介護の高齢者や障害者が暮らす場合には“できるだけ人に面倒を掛けず自分で排泄や入浴ができる”ための水回りリノベーションが効果的で、過大な費用を要さずに実現可能になっているので是非合わせて普及を図りたい。

○次回部会予定：未定

### □ マンション管理組合支援事業部：(丸山和郎 記)

・R.2年3月度、受託進展状況 1) 3月度の新規引合いは2件。①文京区本郷真砂(建物診断～改修設計)と②国分寺市(改修実施設計に続く工事監理)で、1月の相武台と(下記の)前期からの引合い案件とともに受託に向け担当PMと取組み中。2) 前期から取組中の引き合い案件は2件①国分寺市(実施設計)②上鷺宮(改修設計)3) 新規受託決定案件は2件①国分寺市(建物診断調査)②稲城市(長計見直し)。4) 前期からの繰越案件が2件(①町田市、実施設計②品川区、理事会運営補助)

・R.2年度、マンション管理組合支援事業以外の活動計画として ①「R2年度国交省～マンションストック長寿命化等モデル事業」への申請候補案件として上記の上鷺宮(改修設計)を掲げ、同組合理事会と検討開始。②集合住宅部会と共同で、高島平団地再生のための勉強会支援の見積参加。

○次回部会予定：未定

### □ 建築技術誌4月号(3月17日発売) サーツ欄記事

- ・一期一会：小鹿紀英：会社で出会った二人の巨星
- ・サーツニュース：安部重孝：2019年モンゴル行報告
- 余滴：人の来ぬ高きにありて山桜 捷三郎